

# 弁当配布 米不足で窮地

## 困窮者向け「米寄付を」

### とよひら食堂

「とよひら食堂」として、毎週金曜に生活困窮者らに無料で弁当約300食を配布している札幌豊平教会（札幌市豊平区）は、弁当のご飯に使う米が不足し、活動を続けるのが難しくなっている。暮らしに困る人たちを支えるために、広く米の寄付を募っている。

#### ■パンに切り替え

7月上旬の金曜日の午後



とよひら食堂でパンを受け取る子供（札幌市豊平区の札幌豊平教会で）

0時半、教会の前には弁当を受け取るための行列ができた。ストックしている米が不足しているため、この日は手作りのおかずの詰め合わせとパンを配布した。子供を連れて訪れた女性（35）は「シングルマザーで生活が大変なので、こうした支援はとてもありがたい」と話した。

「とよひら食堂」は2017年に始まり、当初は地域食堂としてテーブルで食事を提供していたが、コロナ禍をきっかけに弁当の配布に切り替えて活動を続けている。ボランティアによ

って運営され、ほかに札幌市内2か所でも配布。体の不自由な人たちには配達もしている。

#### ■物価高影響

同教会によると、弁当を求める人は以前は路上生活者を中心だったが、コロナ禍を経て、子育て中の女性や外国人留学生など多様化しているという。おかずの材料はフードバンクや企業などからの廃棄予定の食料を活用しているが、米はほ

### すすきの祭り

#### 花魁役がPR

##### 札幌市役所訪問

8月1〜3日に札幌市で開かれる「第60回すすきの祭り」を前に、メインイベントの花魁道中に出演する芸妓のここと代さんと小梅さんが、市役所に石川敏也副市長を訪問した。祭りでは、ススキノに約

とんなどを個人からの寄付でまかなっており、物価高の影響から米の寄付が減っているという。

牧師の稲生義裕さん（73）は「貧困で孤立するケースは多く、食料支援を通じて居場所づくりに取り組んでもいる。活動を続けるためにもぜひ米の寄付をお願いしたい」と呼びかけている。寄付についての問い合わせは稲生さん（090・88863・7316）まで。

100軒の飲食屋台が並ぶほか、ステージでYOSA KOIソーランの演舞などが披露される。

花魁道中は今回、60回を記念して、一般公募ではなく「さっぽろ名妓連」の芸妓が出演する。2人は1日午後8時15分から、豪華な衣装を身にまとい、歩く予定で、ここと代さんは「楽しんでもらえるように華やかに歩きたい」、小梅さんは